

え こ ー



平成21年6月11日(木)

第2回運営委員会報告

6月3日(水) 10:00 ~

場所 : 研修室

1 PTA 会長より

親子でごみゼロ運動ご苦労様でした。今後も、積極的に自治会等の行事に参加していただき地域との繋がりをもち、連携を築いていただきたいと思います。

学校よりのお便りにもありましたが、5/22朝、南本郷集会所付近にて不審者による被害が発生しました。今一度、親子で通学路の確認をしていただきたいと思います。また校外委員会を中心に、危険箇所を再度確認中です。事故や犯罪に巻き込まれないよう環境を整えていきたいと考えています。

6/27PTAバザーを開催します。昨年度のホットドッグにつづき、かき氷にチャレンジします。役員一丸となって事故のない、思い出に残るバザーに向け準備活動中です。皆さんの温かい支援、ご協力をお願いします。

2 執行部より

- 5月17日 PTA 親睦ソフトバレー大会(56名参加)
- 5月22日 親子奉仕作業(1・2年)(約220名参加)
- 5月23日 木P連定期総会、懇談会出席 (かずさアカデミアホール)
- 5月27日 母女の会出席
- 6月5日 木P連理事会・事務局長合同会議出席 (総合福祉会館)
- 6月5日 二中学区青少年健全育成住民会議欠席(桜井公民館)
- 6月9日 バザー委員会
- 6月17日 第1回母親委員会出席予定 (中央公民館)
- 6月24日 二中学区PTA三校連絡協議会出席予定(東洋)
- 6月26日 バザー前日準備
- 6月27日 授業参観・PTAバザー開催・資源回収



バザー提供品収集日は、6月16日(火)~20日(金) 7:30~9:30です。

ご協力お願いいたします

バザー当日会場整理のお手伝いをしてくださるボランティアさん募集中です。(11時~13時
6月27日(土) 資源回収(新聞紙・雑誌・牛乳パック等)を行いますので、ご協力お願いいたします。(昨年度は、学校図書室の本を購入しました。)

バザーが行われる6月27日に、ご意見BOXを各昇降口3か所に設置しますので、ご意見・ご感想をぜひ、お寄せください。

6月より防犯パトロールをします。当番日、立ち番場所についてお問い合わせがありますが、各学期1回参加を目標に柔軟に対応していただければ幸いです。子供たちの安全のためご協力をお願いします。

3 事務局より

校外指導委員会による看板確認ありがとうございました。今後検討していきます。

不審者対策として、各関係諸機関との連携を図りパトロールをしています。



児童にはできるだけ複数で通学路を通り登下校するよう指導しています。

4 各学年委員会より

第1学年委員会		バザーについて打ち合わせ予定
第2学年委員会	6月 8日	第一回学年委員会
第3学年委員会	6月11日	3・4年合同でバザー打ち合わせ
第4学年委員会	5月12日	役員顔合わせ・親子学習会の打ち合わせ
	5月26日	社会福祉協議会の方と事前打ち合わせ
	6月 4日	福祉学習体験のお手伝い
	6月 5日	親子学習会（福祉体験）（蘇生法講習）実施
第5学年委員会	5月27日	顔合わせ、
	6月15日	ベルマーク収集期間のお手紙作成、配布予定
	7月14日	ベルマーク全体集計
第6学年委員会	5月26日	第一回学年委員会（顔合わせ・バザーについて）
	7月14日	親子学習会



5 各専門委員会より

厚生委員会	5月20日	第一回厚生委員会（年間活動内容・バザーについて）
	5月28日	第一回学校保健委員会
	6月10日	第二回厚生委員会
広報委員会	5月16日	広報誌実技講習会参加（講師に読売新聞社幸田編集部長）
		広報誌「きずな93号」発行にむけ活動中
校外指導委員会	5月13日	看板調査・確認・旗回収・アンケート集計・バザー準備
	6月 3日	旗の破損修理
研修委員会	5月27日	活動内容話し合い・バザーについて
	6月 3日	手作り品作成



6 ご意見ボックスより

昨年子どもたちの手伝いで家庭科室に入りました。包丁の刃こぼれがひどく危険だと思います。研ぎ石を購入し「手入れをして片付ける」をしたら長くきれいに使えると思います。

情報ありがとうございました。早速研いでおきました。子どもたちが安心して使えると思います。また、係が定期的にチェックをしてみたいです。

トイレのにおいについてもご意見を頂戴しました。回答をいただきましたので、紹介します。

構造上のトラップの割れが見つかり、市の協力もあり業者をいれ修理改善中です。

7 木更津市PTA連絡協議会より

平成21年度及び22年度に市内の公立小・中学校31校でCAPプログラムを実施します。本校は7月29日に教職員ワークショップ、10月15日に3年生の親子学習会にて、子どもワークショップ及び保護者向け大人ワークショップを予定しています。子どもワークショップを実施する前に、教職員のワークショップの実施を行い、子どもと保護者の双方が理解されることで、より効果が発揮されるからです。私たち大人がまずは理解、体験することが大事だと思います。プログラムの形式は、ワークショップ（参加型学習）の形をとっています。知識を中心に教え込む従来の学習形態と異なり、参加者が自ら考え、意見を述べ、ロールプレイ（役割劇）に加わるやり方で進んでいきます。